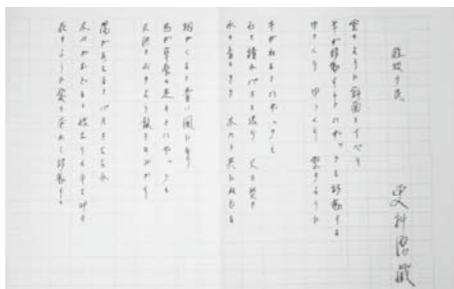




更科源蔵(さらしなげんぞう)
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動が続けた。
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。



トルファンに向かう途中の接待所にて



掲載した詩「遊牧の民」自筆原稿

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



更科源蔵・新妻博・佐々木逸郎が詩を橋場文俊が詩と写真を寄せている

合同詩歌集『シルク・ロード詩集』

1979(昭和54)年の正月、更科の家で開かれた新年会に集まった仲間たちの中で出た、シルクロードへ旅する計画が具体化していきます。旅は同年9月25日に成田空港を出発し、香港、広州、蘭州、ウルムチ、トルファン、西安、北京を巡るコースでした。

一行は、詩人、染織家、大学の名誉教授、郷土史家、医師でエッセイスト、児童文学者、主婦、放送作家、旅行会社社長などで、肩書きでは北海道文化各界を代表しているのだといえは違いはありませんが、北海道文化各界代表訪中団(団長・更科源蔵/秘書長・佐々木逸郎)と仰々しい名前の団体です。

更科にとって中国へは二度目の旅です。一度目は1976(昭和51)年で、このとき更科には会いたくない人がいました。昭和の初期に日本の陸軍士官学校に留学して、高村光太郎らを通して交友のあった中国人の詩人・黄瀛(こうえい)です。その後の戦争や中国国内の政変で亡くなったと伝え聞いていたことが、旅の前、実は生きていたことを知り、もしかしたら会える機会があるかもしれないと思っていたのです。

ですがかなわず、今回もはかない望みでした。

旅の途中、NHKの中国シルクロード取材チームと同宿した朝の食堂で作家・井上靖と顔を合わせ、互いに「あんたとは日本であったことがありませんね」と、言葉を交わします。更科の一度目の中国旅行で、井上靖とは北京で会っていたのでした。

シルクロードの旅から4年後の1983(昭和58)年、正月、更科の家で開かれた新年会で旅の思い出話から、旅で撮った写真に詩をつけて詩と写真展をやるう、という話がまとまります。こうして「シルクロード79」展が同年6月、NHK札幌放送局で開催。8月には札幌市内のデパートで開催されます。この展示会にきていた虻田町文化団体協議会の事務局長の取り計らいで、10月に虻田町民ギャラリーを会場に展示会を行い「シルクロード詩集」のサイン会まで開催しています。

旅の計画、詩と写真展の開催は、更科の周りに集まった人たちの宴会の話から始まっているだけに、事を進めるのにも勢いがありました。



図書館だより

中央2丁目4番1号
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

☆特集展示『冬季オリンピック』

2月7日から、第22回冬季オリンピックがロシアのソチで開催されます。日本との時差は5時間。寝不足覚悟での応援となりそうですね。

展示コーナーに、オリンピック・ロシア・競技に関する図書を集めました。ぜひ、手に取ってご覧ください。

▼期間/2月1日(出)〜2月28日(金)
▼場所/図書館内展示コーナー

☆駐車場側階段は通行止め

図書館の駐車場側階段は、氷がでさやすく大変危険なため、通行止めになっています。ご不便をおかけして申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願いします。

▼今月の休館日/3日(月)・10日(月)・11日(火)(建国記念の日)・17日(月)・24日(月)

新刊案内

- 「ふるさと銀河線」 高田 郁/著
 - 「私のなかの彼女」 角田 光代/著
 - 「ジヨディ、傷つけられた子」 キヤシー・グラス/著
 - 「黒田官兵衛」 童門 冬二/著
 - 「股関節痛は99%完治する」 酒井慎太郎/著
 - 「共働き夫婦のための『お金の教科書』」 深田 晶恵/著
 - 「いとしの大衆食堂 北の味わい32店」 北室かず子/著
 - 「はかりいらすの混せて焼くだけおやつ」 飯塚有紀子/著
 - 「日本ジャンプ陣・栄光への挑戦!」 折山 淑美/著
 - 「おふるのくまちゃん」 デイヴィッド・ウォーカー/絵
- たくさんさんの新刊が皆さんをお待ちしています!

流水の世界

青田 昌秋/著



白い海の不思議ー冬になるとオホーツク海にやってくる流水。海が凍るって、実はそう簡単なことではないのです。以前は港をふさいで厄介者だった流水が、今では豊富なプランクトンのゆりかごだったり、地球環境に影響していると知られるようになりました。

おすすめの最新刊

自然ふれあい行事 参加者募集中!

阿寒国立公園の自然環境を実感してもらうための行事を開催しています。今回は、スノーシュー(西洋かんじき)を履いて摩周湖の外輪を歩きます。動物の足跡を探しながら、冬の景観美を満喫しましょう。

- ▶期日/2月23日(日)
- ▶集合場所/摩周湖第1展望台 駐車場
- ▶参加費/300円(保険代)
- ▶定員/15人(先着順)

申し込み・問い合わせは電話で受け付けます。ホームページもご覧ください。スノーシューのレンタル(別途300円)も可能です。



カルデラを実感できるコースです

EMC通信

～川湯の森から～

エコミュージアムセンターの大きな役割の一つが、自然や環境に関する学習の実施です。町内全ての小・中学生、高校生と、館内外で一緒に活動しています。

「ふるさと」を知るお手伝いを一緒に

「事前に課題や疑問点を浮かび上げる」↓「実地での観察・測定・情報収集」↓「発見・解決・発表」という、段階を踏んだ環境教育のお手伝いをしています。

硫黄山麓に広がるつつじヶ原、アカエゾマツの森、カルデラ湖として国内最大級の面積を持つ屈斜路湖…「火山」「森」「湖」という阿寒国立公園の特徴ともいえる自然環境を学べる絶好のフィールドが、町内で暮らす私たちには身近にあるのです。

子どもたちと一緒に時間を過ごしていると、大人にはない発想に驚かされるのが度々あります。何よりも自然に触れることを入り口として、ひいては歴史や文化などにも興味を持ち、子どもたちが「ふるさと」を感じてくれるきっかけになればと思っています。

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100 URL http://www6.marimo.or.jp/k_emc/
2月は9:00~16:00開館(水曜日休館) 1、2、8、9、15、16日は21:00まで開館!